

## 職員による自己評価

## 保護者による評価

## A環境面

5名の利用の際に狭く感じる可能性があるという意見が出ていたが、テーブル等の移動によりスペースの確保を行っている。利用者の男女比に対する職員配置のバランスが悪いという意見があったが、11月より職員補充により改善した。

## B業務改善

職員間での話し合いを設け、改善点の把握、検討を行った。評価表からご家族の意向を把握し、業務改善に取り組んでいる。外部研修の機会は取れなかったが、月のミーティング内で研修を行った。

## C適切な支援の提供

家族との面談から、ニーズ、課題を抽出し、職員間で共有した上で計画の作成を行っている。家族からの情報、活動での様子観察を大切にしつつ、アセスメントツールも適宜使用している。毎月活動ミーティングを行い、プログラムの固定化がないように取り組んでいる。

## D関係機関との連携

学校、家族、他事業所との情報共有は適宜行っている。医療的ケアの必要な方に対して、主治医からの指示書をいただくことで、情報を共有している。自立支援協議会子ども部会の開催時は参加をしている。

## E保護者への説明

保護者からの相談について、面談や送迎時に確認し対応している。活動内容については連絡帳の使用、送迎時にご家族へ伝えている。

## F非常時等の対応

年に1回避難訓練を行っている。身体拘束については、虐待防止委員会を通し、協議したうえで保護者の同意を頂いている。

## A環境面

スペースについては確保、職員配置、専門性、設備面についてほぼ適切であるという評価だった。

## B適切な支援の提供

放課後等デイサービス計画の作成、活動の工夫について高評価だった。放課後児童クラブや児童館との交流、障害のない子どもと活動する機会については、コロナ禍の中では難しいのではという意見と共にどちらともいえない、いいえの意見が多かった。

## C保護者への説明等

父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等の連携支援についてどちらともいえない、いいえの意見が多かった。保護者に対する説明、共有、理解、助言については高評価だった。苦情について、苦情を伝えたことが無いのでわからないという意見だったが、迅速かつ適切に対応しているかという部分では、高評価だった。子供や保護者との意思疎通、情報伝達への配慮、活動概要等の自己評価の結果発信、個人情報の保護については高評価だった。

## D非常対応

・緊急時等の対応マニュアル等、避難訓練について評価は高かったものの、どちらともいえないという意見も数件あった。

## E満足度

・子どもや支援への満足度は高評価だった。

## 事業所内での分析

## 【共通点】

・保護者に対する説明について評価が高かった。

## 【相違点】

- ・活動スペースについて、職員の意見として狭く感じるという意見があった。
- ・苦情解決について、保護者より伝えたことが無いのでわからないという意見があった。

## 分析・検討してみても…

### 事業所の強み

- ・ご家族との情報共有を行いながら、児童デイサービス計画に沿った活動を行っている。
- ・事業所の立地を生かした活動を計画し、活動の中で四季が感じられるプログラムを考えている。

### 事業所の改善点

- ・緊急時等の対応について、ご家族にもわかりやすく提示する。
- ・支援員、専門職関わらず、業務内容について共有する。
- ・関係機関との連携をより強く行って行く。

### 事業所の改善への取り組み

- ・緊急時等のマニュアルについて、ご家族にもわかりやすく提示できるようにする。
- ・放課後等デイサービスの業務内容について、支援員、関わる専門職と共有し、より充実した活動実施を行う。
- ・学校、相談支援事業、放課後等デイサービス事業所との連携を密に行い、利用者支援の充実を図る。

### ～自己評価を行っての事業所としての感想など～

- ・事業所で行っている活動について、保護者の方に行き届いているところが評価として見られたが、緊急時のマニュアルなど保護者の中でどのような物か分からないという意見があった。事業所としてお伝えできていると思いついてしまっていることもあると感じた。今後お伝えしていく方法を確認していく。
- ・利用者の活動内容等、保護者への報告は出来ていると評価されていた。引き続き行いつつ、ブログ等定期的に活動の様子について写真などで分かりやすく公開したいと思う。
- ・利用者に関わる関係機関との連携の大切さをあらためて感じた。引き続き連絡を取りながら、自立支援協議会等の会議にはできる限り参加していきたい。